

富山鑛一さんと小野浩さん サミット記念品小学校児童に500 個寄贈

12 月10日、富山鑛一さん（温5区）と小野浩さん（虹6区）が、サミットに合わせて作成、販売した炭の置物を、「サミット記念品として児童らにプレゼントしたい」と役場を訪問しました。

富山さんらは、サミット開催を盛り上げようと、環境をテーマにしたサミットにふさわしく、炭を材料にトウロンくんの形をした置物を作成しました。

当日は、教育長に町内の小学校児童分500個の寄贈を申し出、その目録を手渡しました。



真屋教育長は「児童らにとって、良い思い出の品になるでしょう」と二人にお礼を述べました。

洞爺フォトコンテスト 写真で洞爺の魅力をアピール

12 月5日、平成20年度洞爺湖フォトコンテスト（NPO 法人洞爺まちづくり観光協会主催）の表彰式が、とつや・水の駅で行われ、応募総数38点から特選に今野美弥子さん（伊達市）の「静寂—しじま」が選ばれました。そのほか入賞作品として12点が選ばれました。

特選以外の入賞者は次のとおり。（準特選以外は町内関係者のみ・敬称略）

準特選 五十嵐幸二（秋田県）
入選 秋山密雄（入1区）
佳作 村上喜美子（美沢西）



入賞された皆さん

安達京子（財田）

見聞を広め楽しい1日 大原喜楽会公共施設見学会実施

大原の老人クラブ喜楽会（大西勝義会長「会員24人」）は12月20日、日頃見ることの少ない虹田地区の公共施設を見学し、見聞を広めました。

同会では、2カ月1度保健師との相談会を開催したり、町の老人運動会に参加するなど活動を行ってきました。

今回は、冬季に特に家に引きこもりがちなお年寄りの生活を改善したいと企画され、当日は会員が19人参加。役場本町舎、消防庁舎、道の駅あぶた、洞爺湖ビジターセンターなどの公共



長崎町長と記念撮影する喜楽会の皆さん

施設を巡り、有意義な一日となりました。

道の駅あぶた 買物客が30万人突破

12 月11日、道の駅あぶたでは、前身の地場産品直売センターから数えて買物客が30万人に達しました。

節目に買物したのは、札幌から仕事の帰りに立ち寄った佐々木邦昭さん。

5,000円相当の地場産品の詰め合わせセットがプレゼントされ、「びっくりしました。こんなにいいものなら宝くじでも買おうかな」と喜び一杯の表情でした。

菊地敬司専務は「今後も



30万人目となった佐々木邦昭さん(左)

地場産品にこだわった店作りをしていきたい」と同店の30万人突破を喜んでいました。

まちのわだい